

## 3 報告事項 (1) アイ ICT基盤整備部会及び校務支援部会の取組について

	A 部会への検討指示	B 委員会からの具体的な指示内容	C 第1回委員会後の部会検討・実際の対応内容
ICT 基盤 整備 部会	①学習者用端末の安定運用に向けた具体策について	①2学期以降のGIGAスクールサポーターの配置シフトについては、各学校の希望を踏まえて調整を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中に調査実施後、希望に応じた配置調整を実施</li> <li>・10月から6人増員し、計18人で運用中</li> <li>・令和4年度は「GIGAスクール運営支援センター」として運用予定だが、人員が減る見込みのため、オンライン対応と要望に応じた派遣対応を中心とした支援体制の構築が必要</li> </ul>
		②ミライシードの管理アカウントについて小、中、特別支援学校へ配付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月からアカウント管理権限を委譲</li> <li>・各種サービスのアカウント管理については、学習ポータルサービスによる一括管理を検討中</li> </ul>
		③故意や重大な過失がない端末破損に対する無償交換対応を最終年度まで持続させていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末破損数が想定を上回っているため、7月に破損防止リーフレットの配付、10月に教頭会議で破損防止対策の呼びかけを実施</li> <li>・画面破損防止策のさらなる徹底を行っていくとともに、保護者による弁償となる条件の整理を行っていく必要</li> </ul>
	②活用状況を踏まえた活用ルールの見直しについて	④端末毎のデータ通信の使用量について、1か月で200GB、2か月続けて100GBを越えた児童生徒に対し、紙の書面にて学校を通じて警告通知を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月より順次実施中</li> <li>・改善が見られない児童生徒への対応が課題</li> </ul>
		⑤iPadのスクリーンタイム（保護者による閲覧制限機能）の研究を進め、利活用推進委員会にて機能解放の是非を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施準備完了</li> <li>・警告通知と合わせてスクリーンタイム有効化の提案を実施してく方向</li> </ul>
		⑥iPadのYouTubeの閲覧ルールについて試験的に中学校のみ平日日中も閲覧できる形へ変更する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月以降は校務用端末で視聴できるようになり優先度が下がったため、未着手</li> </ul>
校務 支 援 部 会	③Googleサービスを利用した校務の効率化の推進について	⑦お便り等のデータをGoogleクラスルームで配付したり、健康チェックや欠席連絡をGoogleフォームで行ったりして校務の効率化を図れるが、ICTの欠点を見極め対応しながら取り入れていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスルーム及びフォームは7月以降、Meetは9月以降に一斉運用を開始し、各校では必要に応じて有効活用している。</li> </ul>
		⑧教育プラザで学校評価アンケートをフォームで配付する。事前に担当の先生に向けた研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員向け事前研修の実施後、10月以降フォームによる学校評価を順次実施中</li> </ul>
	④令和4年度以降の緊急メールシステムについて	⑨緊急メールシステム（おれんじメール）は、契約更新可能であれば、令和4年度は現行のスクールメールアシストを更新する。令和5年度以降の利用については、令和4年度中に期限を決めたうえで、検討し決定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は現行サービス（エデュコムスクールMailアシスト）によるおれんじメール運用を継続</li> <li>・令和5年度以降は新サービスに移行することを見据え、必要な機能とコストを兼ね備えたサービスの情報収集中</li> </ul>